

成生地域

実施日 平成21年10月16日

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>① 交り江の2.5m道路のファミリーマート付近の歩道が切り下げられており危険ですので、改善してください。</p> <p>また、天童駅のエレベーターを降りたところの裏側のクモの巣がひどい状況です。観光客も通るところですので対応をお願いします。</p>	<p>建設課</p>	<p>歩道の切り下げについては、市の設置基準に基づいて実施しています。具体的な問題点を示していただければ、改善すべきものは改善していきます。</p> <p>天童駅周辺については、商工会議所の皆さんがボランティアで清掃してくださいました。エレベーターのところのクモの巣については、高い足場を組んで取る必要があるため、当面の対応として、窓のガラスにステンドグラス風の目隠しシールを設置しました。</p>
<p>② 昨年も県と市に要望しましたが、県道天童河北線の押切橋から郵便局までの間の歩道整備について、平成22年度に三中成生2号線が開通すると交通量が増加することが予想されるので、現在の進行状況について教えてください。</p> <p>また、押切橋に歩道橋の整備をお願いします。</p>	<p>建設課</p>	<p>歩道の整備については、市内の通学路で両側に歩道のない道路が最優先されています。</p> <p>県道天童河北線のご要望の区間は、南側の歩道整備が完了していることから、実現は難しい状況ですが、引き続き市の重要事業として県に要望します。</p>
<p>③ 成生庄の二階堂屋敷跡を市が購入したようですが、今後の遺跡の整備予定について教えてください。</p> <p>小学校の東側は鳥居と言われている地名があり、谷地中と同じ石鳥居が埋まっているそうです。このことについて教えてください。</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>二階堂遺跡は、成生庄の地頭とされる二階堂氏に関連する屋敷跡と伝えられ、成生庄の政治の中心となった施設である可能性の高い遺跡であることから、市の財政計画や3か年実施計画などとの調整を図りながら、発掘調査に取り組みます。</p> <p>鳥居については、昭和50年に発掘調査が行われ、地中より鳥居の台座2基が発見されました。台座は安山岩で、石の中心から中心までの距離が394cmあり、清池の石鳥居とほぼ同規模の鳥居であったと推定されています。柱石については、当時倒れた状態で台座近くにありましたが、そ</p>

成生地域

実施日 平成21年10月16日

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
		<p>の後、耕地整理で失われたようです。年代は、鎌倉時代のものではないかと推定されています。</p>
<p>④ 地方分権、権限委譲で国から県、県から市町村へ仕事に移っているようです。そして市から町内、自治会へ仕事が降りてくることが多いと思います。例えば災害時要援護者避難支援制度など、町内で調べて申請するように指示がありました。</p> <p>地域社会福祉協議会についての指導もありましたが、成生地区ではまだ設立されていません。</p> <p>町内会の温度差をなくすためにも、会長会や連合会など情報交換の場が必要だと思います。</p>	<p>社会福祉課</p>	<p>防災や福祉関係の取組については、地域の皆様のご協力が不可欠ですので、今後ともご協力をお願いします。</p> <p>また、地域と市が一体となって取り組む事業については、情報や課題を共有する必要があります。そのため、地域によって取り組み方が異ならないよう、各地域において、町内会連合会や各種団体の会長会議等で事前に説明させていただき、共通認識を深めて、事業推進を図っていきますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>⑤ 地域の公園や遊園地で、市が管理している遊具が不備になると交換されます。町内会などで設置した遊具は、独自に直すことができないので助成などをお願いします。</p> <p>子どもと大人のコミュニケーションづくりの場として、集落にも老野森の加茂神社前のような広場の整備をお願いします。</p>	<p>農林課</p>	<p>自治会で設置した遊具については、各自治会で管理していただくこととなります。</p> <p>新しい公園などの早期の整備は、財政上の問題もあり難しいため、地区周辺の既存の施設を活用して、コミュニケーションを図っていただきたいと考えております。</p>
<p>⑥ 今町の県浄化センターの裏に、昨年10月に桜の木40本が植栽され、さくら回廊として整備されました。地区の区長会で管理していましたが、19本の桜が枯れてしまいました。さ</p>	<p>建設課 市長公室</p>	<p>さくら回廊につきましては、地元の方のご協力により、19本の枯れ木を植え替えていただき感謝申し上げます。指導やアドバイスについては、引き続き専門家にお問い合わせしてまいります。</p> <p>押切川については、県が管理する河川に</p>

成生地域

実施日 平成21年10月16日

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>くら回廊の管理について、関係課職員の指導やアドバイスをお願いします。</p> <p>また、天童北部公民館から押切川下流の堤防の上を、ウォーキングやサイクリングロードとして整備してはどうでしょうか。</p>		<p>なっていますので、県に対して提言内容を伝えていきます。</p>
<p>⑦ 町内会で、押切川の今町橋から乱川の合流点の川の堤防の草刈りを実施していますが、高齢化が進み負担が大きくなっています。</p> <p>押切川の下流は乱川との合流地点に近いため、上流域からの土砂の堆積が早く、柳等が成長して川岸と一体化し、川幅が狭くなっています。増水すると堤防の高さまで水かさが増し氾濫が心配されますので、川底の土砂ざらいを定期的をお願いします。</p> <p>乱川下流域の高速道架橋から田井橋までは、土砂の堆積が多く極端に川幅が狭くなっています。いったん増水すれば、高速道架橋付近で川がせき止められ氾濫する心配があります。引き続き下流域までの整備をお願いします。</p> <p>堤防は業者により途中まで舗装整備されますが、東側のグラウンドゴルフ場までの15mの区間の舗装をお願いします。</p>	<p>建設課</p>	<p>町内会の皆様には、堤防の草刈り等、河川美化運動に取り組んでいただいていることに感謝申し上げます。高齢化が進んでいる状況は各地域の悩みであり、今後とも負担のかからない範囲で取り組んでいただければと思っています。</p> <p>押切川及び乱川下流部の土砂の件については、河川の管理者である県村山総合支庁河川砂防課<small>しゅんせつ</small>において平成21年度中に浚渫<small>しゅんせつ</small>を行っています。</p> <p>グラウンドゴルフ場までの堤防の舗装については、県に要望していますが難しいと思われま。</p>

成生地域

実施日 平成21年10月16日

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>⑧ 市民文化会館のトイレは、女性トイレの1箇所を除いて和式で、男性トイレには洋式がありません。大きな施設なのに洋式トイレの数が少ないため、イベント時の休憩時間には洋式トイレの前に行列ができていました。高齢者に配慮して、洋式トイレに改修してください。</p>	<p>文化スポーツ課</p>	<p>平成22年度に、市民文化会館・中央公民館の和式トイレの一部を洋式トイレにするための改修工事を行います。</p>
<p>⑨ 田井橋再架促進期成同盟会がありますが、なかなか実現しない状況です。財政面からも早期の整備は難しいと思いますが、どのような状況なのか教えてください。</p>	<p>建設課</p>	<p>河北町と連携して運動していますが進展はなく、政権交代もあり容易なことではないと思います。</p>
<p>⑩ 農業用肥料や農薬代が高騰しています。農産物の価格低迷対策として、市独自で規格外の農産物も商品として販売する手立てはないでしょうか。</p> <p>農業後継者が少なくなっているため、遊休農地対策が講じられて、農業生産物に付加価値がつき収入が増えるように検討してください。</p>	<p>農林課 農業委員会</p>	<p>規格外の農産物を「わけあり」と表示して販売する取組がなされています。</p> <p>遊休農地については、大規模経営者や小規模で自給的農業を志向する者などの役割分担をしながら、地域農業の確立を図っています。また、個人、法人の認定経営体を増やし、担い手農業者の育成を図っています。</p> <p>また、毎年8月に耕作放棄地の実態調査を行っています。調査後、土地所有者と権利関係者を調べ、その対象者に賃貸、売買などの意向調査のアンケートを行い、農地の流動化を促進しています。</p>
<p>⑪ 農業と商業と観光について、行政と農協が一緒になってプロジェクトチームを作り、天童の農業を宣伝してください。職員も現場に出てプランを立てて、観光と農業のPRをしてく</p>	<p>農林課 学校教育課</p>	<p>市内の産直グループで天童市グリーンツーリズムネットワークを組織し、対面による農産物の販売を通してPRに努めています。</p> <p>子どもたちの農業体験は市内ほとんどの学校で進めています。地域の方から農業</p>

成生地域

実施日 平成21年10月16日

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>ださい。</p> <p>また、農業の担い手育成として、学校で遊休農地を利用して農業を教えるなど、市が中心になって子どもたちに農業体験をしてもらうのはどうでしょうか。指導者として地域の農家の人たちに教えてもらい、農業体験をとおして農業を活性化することができると思います。</p>		<p>の持つ豊かさを教えてもらうことで、心豊かな子どもが育まれています。</p> <p>荒井原地区では山口小学校の子どもたちに学校田を提供し、小学生と地域の方が一緒になって、農作業を通じた子どもたちの農業体験活動を行っています。子どもたちは農作業を通して食の大切さと農作業の苦労を感じ、食に対する思いを新たにしています。</p> <p>今後とも、地域の方と子どもたちの農業体験を通じた交流の場を積極的に設けながら、農業の活性化へと結び付けていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。</p>
<p>⑫ 退職者や高齢者を募り、みんなで遊休農地を借りて農園をつくり、施設の入所者や子どもと一緒に、菊を摘んだり豆を打ったり、自然の中で集団で仕事ができればいいと思います。</p>	農林課	<p>遊休農地を利用した農業の交流活動については、種を播くまでの土作り、種まきから収穫までの管理等、さまざまな作業工程があり、経費の負担や作業工程のすべてを高齢者と子どもたちで行うことは困難な面があります。</p> <p>現在、荒井原地区で行っている地域の方と小学生との農業体験活動を参考にしながら、ご提案のような集団での農業体験活動の実現について考えていきたいと思ひます。</p>
<p>⑬ 市役所の職員が家に来ても、忙しいからお茶も飲まないで帰っていきます。地域住民との対話も大事であり、30分程度であればお茶飲み話も必要だと思います。職員の質を高めるためにも、コミュニケーションを大切にしてください。</p>	総務課	<p>まちづくりをしていくうえで、市民の皆さんとのコミュニケーションは非常に重要なことであると考えています。今後とも、地域の方々との対話を大切にするよう指導します。</p>